

水道事業のこれから ～『登別市水道事業経営戦略』を策定しました～

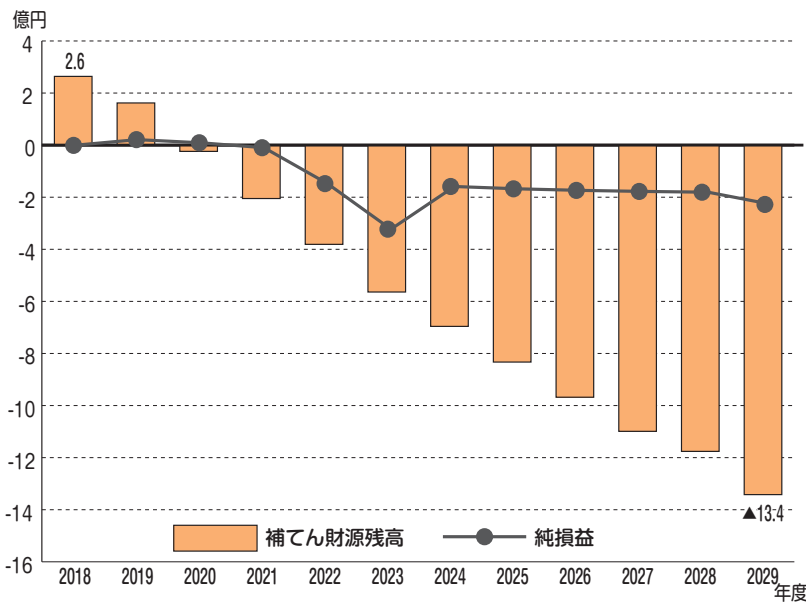
水道事業の運営にあたっては、必要な水道施設などの更新や耐震化を進めながら、施設や管路の健全性を維持しなければなりません。一方で、給水人口や水需要の減少が見込まれているため、経営環境はより一層厳しくなることが予想されます。

市は、このような状況下でも、市民の皆さんに安全安心な水を供給する水道事業を継続していくため、中長期的な経営を見通し、そこから見えてきた課題解決に向けた取り組みを定めた『登別市水道事業経営戦略』を策定しました。



登別温泉浄水場

2018年度以降の補てん財源残高と純損益の推移の見通し



▲純損失が続く、補てん財源を確保することができない見通し

経営見通し

経営戦略では、2018（平成30）年度から2029年度までの12年間の計画期間として、水道使用量などを推計しました。

水道料金や施設の維持管理に係る収支については、水道料金収入が減少し、営業収益は減少する一方で、施設整備に伴う支払いや減価償却費の増加などが見込まれ、2018年度以降は、2019年度と2020年度を除き、毎年、支出が

収入を上回る純損失が生じる見込みです。また、水道施設など、新たな整備のための建設改良積立金や減債積立金などの補てん財源は、建設のための借入金を活用しても、2020年度には不足する見込みとなりました。

今後の取り組みなどについて

このように、厳しい経営状況が見込まれたことから、今後は『民間活力の検証』や『広域化への取り組みの推進』、『投資効果の検証』、『水道料金改定の検討』、『未納者対策の強化』などの取り組みをこれまで以上に進めていくこととしました。

また、毎年度、計画値と決算値との比較・分析を行いながら、事業の効率化や経営状況の健全化を図っていきます。

なお、水道料金の改定に関しては、利用者である市民の皆さんの理解と協力が不可欠となりますので、広報紙や市公式ウェブサイトなどを通して、お知らせしていきます。

『登別市水道事業経営戦略』は、水道グループに備え付けているほか、市公式ウェブサイト (<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/201801170003>) に掲載していますので、ご覧ください。

登別市水道事業運営審議会委員を募集します

市は、水道料金の見直しについて調査・審議する水道事業運営審議会委員を募集します。

- ▶ **募集人数** 2人
- ▶ **対象** 市内に居住する18歳以上の方
- ▶ **内容** 3月中旬から5月中旬までに3回の開催を予定している水道事業運営審議会への出席
- ▶ **申込方法** 2月23日(金)までに、水道グループに備え付け、または市公式ウェブサイトに掲載の応募申込書に必要事項を記入し、郵送、Eメール、持参のいずれかの方法により水道グループ（〒059-8701中央町6丁目11、☎⁰⁵5805、Eメールgyoumu@city.noboribetsu.lg.jp）に提出

問い合わせ 水道グループ (☎⁰⁵5501)